

クールジェッター  
COOLJetter®  
(CLJ-590D-K)

## 取扱説明書



このたびは、「霧のいけうち®」の  
COOLJetter® (クールジェッター) をお買い  
上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に必ず、本取扱説明書をよく  
お読みになり、正しくご使用ください。

また、お読みになったあとは、いつでも  
見られる場所に保管願います。

### 目次

- |                     |        |
|---------------------|--------|
| 1. 安全上のご注意          | ・・・ 1  |
| 2. 取付けの前に           | ・・・ 4  |
| 3. 各部の名称と役割         | ・・・ 5  |
| 4. ご使用方法            | ・・・ 6  |
| 5. メンテナンス           | ・・・ 7  |
| 6. 「故障かな？」<br>と思ったら | ・・・ 9  |
| 7. 仕様               | ・・・ 10 |

# 1. 安全上のご注意



**警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

## 警告マークについて



禁止事項を表します  
(対象は不特定)



指示どおりに



危険防止策を  
行ってください



危険にご注意ください  
(対象は不特定)



分解禁止



アース線を接続  
してください











感電注意

警告・指示項目は、必ず守ってください。




## 警告

ご使用前に取扱説明書・注意書を必ずよくお読みいただき、使い方を十分理解してください。



### ●ご使用時

-  爆発性雰囲気では絶対に使用しないでください。  
爆発性雰囲気(爆発性のガスが存在したり発生したりする環境及びその可能性のある環境)では絶対に運転しないでください。モーターが焼損したときや、異物の混入による接触火花、電源コードの差し込み・抜き取り時のコンセントからの火花などにより、周囲のガスが爆発して危険です。
-  水をかけないでください。  
モーターに水をかけたり雨水に当たったりしないでください。  
感電事故やモーター焼損の原因となります。
-  ファンカバー以外の分解禁止(部品を取り外して使用しないでください。)
-  火気の近くや高温(50℃以上)になるところでは使用しないでください。
-  直接、人にむけて送風しないでください。  
万一、吸い込まれた異物が人に当たった場合、失明などの事故の負傷の恐れがあります。
-  吸込口や吹出口に指や棒などを入れないでください。指や手を損傷する恐れがあります。
-  次のような症状があれば、すぐに使用を中止してください。発火・発煙の恐れがあります。
  - ・スイッチを入れても羽根車が回らない。
  - ・羽根車が回っても遅かったり、不規則な回り方。
  - ・コゲくさい臭いがする。
  - ・うなり音、ゴロゴロ音等の異常音がする。
-  周囲状況など十分注意して、危険予知に心がけてください。

### ●配線時












-  配線は電気設備技術基準や関連規定に従って施工してください。焼損や火災の恐れがあります。
-  必ずアースを取ってください。(接地してください。)
-  安全のため、COOLJetter®1台につき、電磁開閉器又は漏電ブレーカを必ず設けてください。

### ●修理時・メンテナンス時


-  修理、メンテナンス時は、必ず電源を切ってください。
-  修理は、必ず弊社営業所にご依頼してください。  
修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく事故や怪我の原因となります。

## 注意

### ●ご使用時

-  空気以外は吸い込ませないでください。  
酸・アルカリ・粉塵などを吸引すると本機の寿命を著しく縮めます。  
水滴を含む空気を吸引すると、モーター部の絶縁不良などによって製品の損傷の原因となります。
-  ファンを止めた状態で噴霧は絶対にしないでください。ファンの故障、漏電の原因となります。  
噴霧開始時は、先にファンを回し、数秒後に噴霧を開始してください。  
噴霧停止時は、先に噴霧を止めて、5秒ほどあとにファンを停止してください。
-  安定のよい水平な場所に置くか、固定してから使用してください。  
送風によりCOOLJetter®が移動、転倒する恐れがあります。
-  1分間以内のスイッチの操作繰り返しはしないでください。スイッチやモーターの寿命を著しく縮めます。
-  風の流れを遮らないでください。  
風の流れを遮るとモーターの冷却が悪くなり、モーターの寿命が縮まります。
-  急激な温度変化を与えないでください。
-  結露に注意してください。  
結露することにより、モーター部の絶縁性能が劣化し、サビの発生や製品寿命に影響します。  
冬季や寒冷地では、特に注意ください。（結露：冷たい物〔例：眼鏡、窓ガラス〕の表面に暖かい空気が触れ、水蒸気が滴となって付く現象）
-  吐出方向を変えるときは、本体部分と台の部分が可動します。  
可動部分には触れないでください。触れると怪我をすることがあります。
-  フィルターでろ過した清潔な水をご使用ください。  
汚れた水は、ノズル目詰まりの原因となります。
-  通水時には高圧がかかります。ノズルやホースの脱着は圧力を抜いてから行ってください。
-  通水しないときは内部の水を抜いてください。また、凍結にご注意ください。

### ●電源コードについて

-  ・電源コードを乱暴に扱わないでください。  
・電源コードを持って本機を移動させたり、電源コードを引っ張ってコンセントから抜いたりしないでください。  
・電源コードの上に重いものを載せないでください。  
・電源コードを熱の加わる所へ近づけないでください。  
・電源コードに酸やアルカリ・油・水のかかる恐れがないようにしてください。  
・電源コードを角ばったところに当てないでください。

## 2. 取付けの前に

### ●納入品について

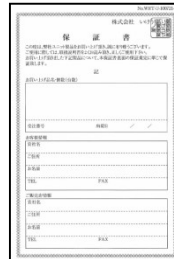
取付けの前に、以下の物品がそろっていることを確認してください。



COOLJetter®本体・・・1台  
(型番により、形式は異なります)

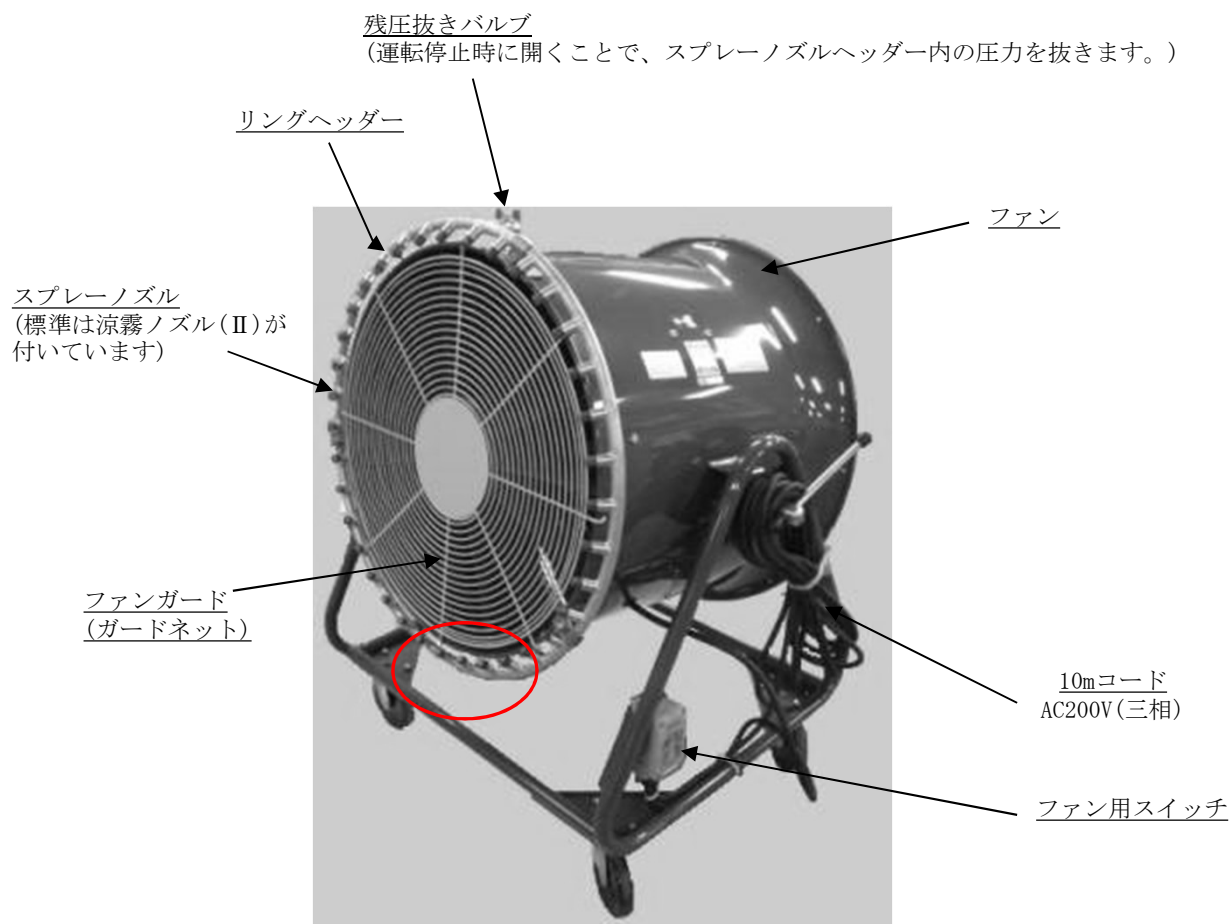


取扱説明書（本書）

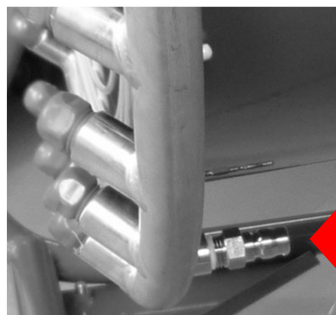


保証書

### 3. 各部の名称と役割



○部拡大図



INLETカップラ  
(供給口)

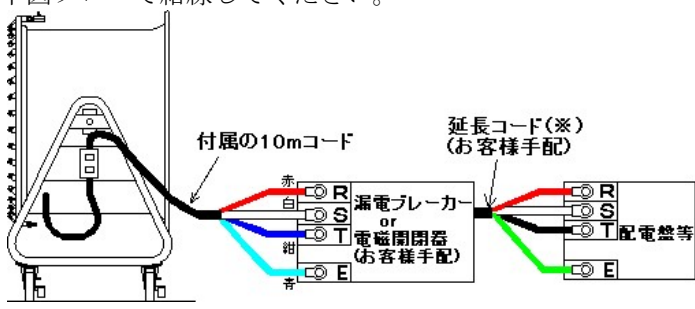
(高圧ホースをここに接続してください)

## 4. ご使用方法

### ●運転開始時 (送風開始 → 噴霧開始 の順で実施してください。)

- ①COOLJetter®を水平な床面に固定し、ストッパーを働かせてください。
- ②リングヘッダーのINLETカプラ(供給口)に高圧ホースを接続してください。
- ③COOLJetter®の電源を接続してください。

送風方向が逆のときは、すぐに電源を停止させ、3本線のうち任意の2本の配線をつなぎ替えてください。

型番	接続方法	備考										
CLJ-590D-K	<p>下図フローで結線してください。</p>  <p>・CLJ-590D-Kのコード線の色は、赤、白、紺、青 です。 赤→R端子、白→S端子、紺→T端子、青→E端子(アース)にそれぞれ接続してください。</p> <p>・電磁開閉器、漏電ブレーカについては、1.5kW以上のものを選定してください。</p> <p>・延長コードについては、VCTFキャブタイヤケーブルをご使用ください。</p>	<p>・アースを必ず取ってください。</p> <p>・電源コードを長距離伸ばすときは、下表の断面積のコードを選定してください。(電圧降下防止のため)</p> <table border="1" data-bbox="1098 996 1406 1243"> <thead> <tr> <th>ケーブル長</th> <th>断面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20m</td> <td>2.0mm<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>50m</td> <td>3.5mm<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>100m</td> <td>8.0mm<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>200m</td> <td>14mm<sup>2</sup></td> </tr> </tbody> </table>	ケーブル長	断面積	20m	2.0mm <sup>2</sup>	50m	3.5mm <sup>2</sup>	100m	8.0mm <sup>2</sup>	200m	14mm <sup>2</sup>
ケーブル長	断面積											
20m	2.0mm <sup>2</sup>											
50m	3.5mm <sup>2</sup>											
100m	8.0mm <sup>2</sup>											
200m	14mm <sup>2</sup>											

- ④本体の電源スイッチをONにして、送風開始してください。
- ⑤高圧水を供給(※)し、噴霧開始してください。
- ⑥高圧水の供給圧力が6MPaであるか、ポンプ付属の圧力計にて確認してください。
- ⑦過負荷等により、途中でファンが停止した場合はすぐに噴霧を止めて、メンテナンス(7ページを参照)してください。

(※) 別紙涼霧ポンプユニット取扱説明書も参照ください。

### ●運転停止時 (噴霧停止 → 送風停止 の順で実施してください。)

- ①高圧水の供給を止め、噴霧停止してください。
- ②約5秒後に、本体の電源スイッチをOFFにして、送風停止してください。
- ③リングヘッダーの水が噴き出す恐れがあるので、残圧抜きバルブをゆっくり開けて、リングヘッダー内の残圧が抜けたことを確認し、バルブを閉じてください。
- ④長期間停止される場合は、高圧ホースをINLETカプラから外し、リングヘッダー内の水を抜いてください。

## 5. メンテナンス

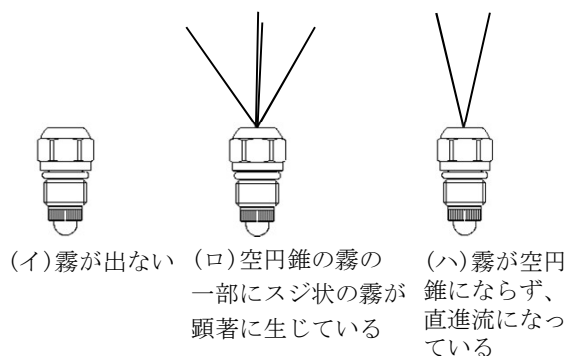
### ●ファンのメンテナンス

(必ずコンセントプラグを抜いてから実施してください。  
また羽根の掃除方法については、次ページを参照してください。)

- ・ファンの羽根車にホコリ・ゴミや汚れ等が付着していたら、柔らかい布やブラシ等で取り除いてください。  
(汚れが付着したままだと、異常振動の原因となります。)
- ・ファン内部に水(霧)が入り込んだときは、必ず拭き取って乾燥させてください。
- ・ファン本体の汚れはぬるま湯か中性洗剤を浸した布で拭き取り、柔らかい布等で乾拭きしてください。
- ・コードやボルト等のグラツキ、損傷がないか点検してください。

### ●ノズルのメンテナンス

①ノズルの噴霧パターンが下図のようになっていたら、新品と交換してください。



ノズル品名  
(以下品名で注文ください)

M12x1.5M 涼霧ノズルⅡ

②ノズル交換は、以下の手順で実施してください。

- ・ノズル取付前には、必ず配管内部のフラッシング等を実施し、管内の異物を除去してください。
- ・交換用ノズルにOリングが付いていることを確認してください。  
(Oリングは P-9 を使用しています。)
- ・ノズルの締付けは、最初は手締めとし、正確にねじ込まれたことを確認後、ノズルの六角に合った適正な工具(スパナ:14サイズ)で増し締めしてください。
- ・推奨トルクは5~10N・m です。

### ●保管時 (本機を保管または長期運転休止する場合)

- ・リングヘッダー内の水は必ず排水してください。(エアーブロー等で水分を除去するのがお勧めです。)
- ・屋内で温度・湿度変化が少なく、振動や粉塵が発生しない場所に保管してください。  
また、ビニールでカバーをすることをお勧めします。
- ・3か月程度に1度はファンの試運転をしてください。  
ファンモーターが長期間(3か月程度)運転していない場合、保管状況によっては、軸受けが油膜切れを起こし、サビの発生や異常音発生の原因となる恐れがあります。  
ファンを試運転することで油膜切れを防いでください。



## ●羽根の掃除方法 (必ずブレーカ(客先電源)をOFFにしてから実施してください。)

- ①リングヘッダーに高圧ホースが接続されている場合は、取り外してください。
- ②リングヘッダーの反対側のファンガードを、取り外してください。
- ③ホコリ・ゴミや汚れ等が付着していたら、柔らかい布やブラシ等で取り除いてください。  
洗剤等使用する場合は、柔らかい布を中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して、  
強く絞ってから拭いてください。  
(清掃時に、羽根を変形させないでください。変形させると異常振動の原因となります。  
また羽根をモーターから取り外すことはしないでください。)
- ④逆の順序で取り付けてください。  
(ファンガードの固定ボルトは確実に締め付けてください。)

## ●ファンガードの掃除方法 (必ずブレーカ(客先電源)をOFFにしてから実施してください。)

- ①リングヘッダーに高圧ホースが接続されている場合は、取り外してください。
- ②リングヘッダー側のファンガードのホコリ・ゴミや汚れ等を柔らかい布やブラシ等で取り除いてください。洗剤等使用する場合は、柔らかい布を中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して、  
強く絞ってから拭いてください。
- ③リングヘッダーの反対側のファンガードを、取り外してください。
- ④リングヘッダーの反対側のファンガードのホコリ・ゴミや汚れ等を柔らかい布やブラシ等で取り除いてください。洗剤等使用する場合は、柔らかい布を中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して、強く絞ってから拭いてください。  
(汚れが付着したままだと、閉塞したときにモーターに負荷がかかり、ブレーカが落ちる原因となります。)
- ⑤逆の順序で取り付けてください。  
(ファンガードの固定ボルトは確実に締め付けてください。)

## ●ノズル、リングヘッダーの掃除方法

(必ずブレーカ(客先電源)をOFFにしてから実施してください。)

- ①ノズル、リングヘッダーのホコリ・ゴミや汚れ等を柔らかい布やブラシ等で取り除いてください。  
(汚れが付着したままだと、ボタ落ちが発生する原因となります。)
- ②ファン内部に水(霧)が入り込んだときは、必ず拭き取って乾燥させてください。

## 6. 「故障かな？」と思ったら

●お問い合わせの前に、以下のことについてご確認ください。

### 1. ファンについて

No.	こんなときは	ご確認ください	直し方
1	電源を入れても送風開始しない。	ブレーカやヒューズが切れていませんか？	ブレーカやヒューズを復帰させ、電源を入れてください。
	途中で送風が止まった。	モーター温度保護装置が働いていませんか？	モーターを冷却させてから、送風開始してください。 羽根がロックしている、羽根が汚れていると過負荷状態となり、モーター保護装置が作動することがあります。ファンの点検・メンテナンスも併せて実施してください。
2	漏電している。	結露やファン内部が濡れていませんか？	ファン内部の水を拭き取り、乾燥させてください。
3	送風時に異音、振動がする。	羽根に汚れが堆積していませんか？	羽根を掃除してください。
		リングヘッダーの固定ボルトにグラツキがありませんか？	ボルトを増し締めしてください。
		モーター軸受けが油膜切れしている。	ファンを運転し、軸受けに油膜をなじませてください。

### 2. ノズルについて

No.	異常状態	原因	対策
1	噴霧しない。	1. 圧力不足。 2. チップ噴口部又はストレーナの目詰まり。	1. 配管内圧力を確認のうえ、6MPaにする。 2. ノズルを分解し、チップ噴口部とストレーナをエアブローし再組み付けする。
2	水滴の発生。	1. 圧力不足。 2. 噴口回りの異物付着。	1. 配管内圧力を確認のうえ、6MPaにする。 2. ノズルを分解し、チップ噴口部とストレーナをエアブローし再組み付けする。
3	空円錐にならない。	1. 圧力不足。 2. チップ噴口部の目詰まり。	1. 配管内圧力を確認のうえ、6MPaにする。 2. ノズルを分解し、チップ噴口部とストレーナをエアブローし再組み付けする。
4	直進流となる。	1. クローザーが入っていない。	1. ノズルの交換。
5	水漏れする。	1. シール剤、シールテープの異常。 2. 締付け不足。	1. シール剤、シールテープの交換、変更。 2. 増し締めする。 (推奨締付けトルク5~10N・m)

## 7. 仕様

	CLJ-590D-K	
ノズル形番×個数	涼霧ノズルⅡ×36個	
周波数(Hz)	50	60
総噴霧流量(L/hr)	85(6MPa時)	
送風量(m <sup>3</sup> /min)	323	
電源電圧(V)	AC200V(三相)	
消費電力(kW)	1.5	1.9
電源コード長(m)	10	
寸法(幅x奥x高)	795 x675 x1010	
質量(kg)	約76(空水時)	
備考		